

令和 8 年度

学校要覧

金ヶ崎中学校教育目標

英知	基礎・基本を大切に、学び続ける生徒	知
敬愛	自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒	徳
鍛練	常に心と体を鍛え、修練に励む生徒	体

この知徳体のバランスを大切にした生徒の育成を図り、

大志拓路 大いなる志を実現するため、路を切り拓き
続ける人の基盤育成を目指す



金ヶ崎中学校校歌

作詞 千田 正
作曲 鈴木 林蔵

一、山脈はるかに駒ヶ岳
紺碧の空 輝けり
歴史はながく 先哲の
のこせし業を かがみとし
真理の道を 究めんと
集うわれらに 誇あり
ああ金ヶ崎 われらの母校

二、流れも清らに北上は
千古の緑 うつしつ
ひろがる大地 幸をよび
たかき理想を 仰ぎみる
花咲きかおる 学舎に
歌うわれらに 希望あり
ああ金ヶ崎 われらの母校

三、平和の丘に鐘はなり
窓辺に宿す 星のかげ
深きえいちの 灯をともし
夢ははばたく 大空に
ゆるがぬ文化 築かんと
励むわれらに 栄光あり
ああ金ヶ崎 われらの母校

金ヶ崎町立 金ヶ崎中学校

岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根菖蒲沢27-1

〒029-4503 電話 0197-44-2020

FAX 0197-44-2115

http://www.town.kanegasaki.iwate.jp/sc_kanegasaki_chu/

1. 学校経営方針

I 学校教育目標

英知	基礎・基本を大切に、学び続ける生徒	知
敬愛	自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒	徳
鍛練	常に心と体を鍛え、修練に励む生徒	体
この知徳体のバランスを大切に生徒の育成を図り、		
大志拓路	大いなる志を実現するため、道を切り拓き続ける人の基盤育成を目指す	

◎目指す学校像

- ・基礎・基本を定着させ、学習内容の活用を図る学校
- ・「生きる力」を育む教育活動を創意工夫する学校
- ・よりよい人間関係が築ける生徒を育成する学校
- ・家庭や地域と連携して生徒を育成する学校

◎目指す生徒像

- ・基礎・基本を大切に学び続ける生徒 【英知】
- ・自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒 【敬愛】
- ・常に心と体を鍛え、修練に励む生徒 【鍛練】
- ・大志をもち、道を切り拓く生徒 【大志拓路】

◎目指す教職員像

- ・教育公務員としての自覚と使命感をもつ教職員
- ・自己研鑽に励み、資質と力量を高める教職員
- ・相互の信頼に基づき、学校の組織の一員として職務に精励する教職員
- ・生徒に寄り添う教職員

II 学校経営の方針と今年度の重点

1 経営の方針

(1) 人間尊重の精神に基づく信頼と協働による教育活動の推進

公教育の立場から、保護者や地域の信託に応え、また、教育目標の具現化に向けて教育課題を解決するために、人間尊重の精神(ぬくもりと思いやり)を経営の根底に据え、合理的な校務分掌を組織し、互いに信頼し尊敬し合い、専門職として研鑽を積みながら、一人ひとりの生徒に丁寧に向き合いかつ機能的な学校経営に努める。

(2) 自己の肯定感や有用感と成就感をもたせ、集団の一員としての自覚を育む教育活動の展開

一人ひとりの生徒において、学校生活全般を通して生徒同士の望ましい人間関係づくりを図るとともに、学習活動や行事・生徒会活動、部活動等において、褒め・認め・励ます指導を実践することにより、自己の肯定感や有用感、成就感をもたせ、集団への所属感・連帯感の育成を図る。あわせて、個々の生徒の自己実現を促進し、その達成に向けて支援する。

<4月>

授業・学級学年活動・生徒会活動・部活動・朝読書・授業と連動した家庭学習の計画実践・給食指導等、学校生活全般にわたる基本的な取り組みを確認し、新年度の順調なスタートに向け、規律や生活スタイルの再構築を図る。

<5・6月>

体育祭を通して生徒を大きく成長させる絶好の機会である。また、部活動は、好ましい人間関係の形成に資するものであり、生徒自身が成長を実感できる貴重な活動の場としても有効であることから、学級担任と部活動顧問の連携を密にし、より充実した活動となるように支援指導する。

<7月>

集団の中で個人が培った力を高く評価し、個人の自律性の伸長を目指すことを支援指導の重点とする。夏季休業は学力向上や体力づくり等、主体的な実践の場として絶好の機会と捉え、主体的な取組による成長を促す。

<8～11月>

個人の伸長を再確認し、相互のよさを認め合う学級づくりを通しながら、真剣に学習する集団、互いに学び合う集団の実現を図る。新リーダーへの移行、文化祭取組による集団の再構築の時期と捉え、支援指導する。

<12～3月>

部活動や学校行事で培った力を、学力を向上しようとする意欲に転化させる期間としたい。生徒の学習向上運動を軸にして学習意欲を引き出し、朝読書、授業そして家庭学習の計画実践と一連の学習サイクルの定着に、より一層力を入れる。そして、1年を振り返り、成果と課題を明らかにし次年度に向けた改善・試行の意欲を育み、成長を促す。

(3) 家庭・地域社会との連携による心豊かな生徒の育成

「開かれた学校」を目指し、家庭・地域社会のもつ教育機能や資源を十分に活用し、教育活動の充実・発展を図る。⇒「コミュニティ・スクール」の機能を積極的に取り入れる。

- ① 学校情報をさまざまな形で提供する。
- ア 校報及びホームページによる学校の様子等の発信
- イ 地域への授業一日公開の実施（道徳授業公開を含む）
- ウ 教育振興会役員との懇談会、学区民生児童委員との懇談会の開催（年2回）
- ② 『英語教育の町金ヶ崎』の推進を図り、諸機関と連携して一層の推進に取り組む。
- ア 国際理解教育の推進
- イ 英検受験の促進（公費補助を活用した積極的な受検の推奨）
- ウ 異校種間の実践交流及び指導連携の促進強化
- ③ 「ボランティア（医療・福祉・保育）体験活動」、「農業・職場体験学習」、「小学校区まち歩き体験学習」等を展開する際に地域の方々・関係諸団体との協力・連携を図る。

- ④ 地域の行事等に積極的に参加させ、地域の方々との交流が図られるよう推進する。

ア 地区民運動会、地区敬老会、地区文化祭等の行事…生涯教育センターとの連携推進。

- ⑤ 学区内小学校及び高等学校の児童生徒間の連携強化を図り、地域に学ぶ生徒の育成を図る。

2 経営の重点

(1) 学習指導要領に則った適切な指導 → 意図的・計画的な実践推進

- ① 諸調査の結果を踏まえた授業改善・授業交流の促進
- ② 校内研究・授業研究の充実、プレゼンテーション発表取組の充実
- ③ デジタル・シブズンシップ教育への転換
- ④ 学習指導要領実施、教科及び領域における年間指導計画及び評価規程の運用実践

(2) 学力向上を目指す教科指導の充実

- ① ICT危機の効果的な利活用
- ② 授業スタイルの確立と実践継続
- ③ 基礎・基本の知識や技能の確実な習得 諸調査問題等の有効活用
- ④ スタディサプリを用いた家庭学習と授業の連動
- ⑤ 「英語教育の町」の具現化を促進
- ⑥ 異校種間の実践交流、連携した学習支援の構築
- ⑦ 一人一台端末の積極的な活用
- ⑧ 生徒の学力保障及び働き方改革に向けたデジタルドリル等の利活用

(3) よりよい人間関係を育てる生徒指導の充実

- ① 教育相談の計画的な実施、学年学級経営の共通理解
- ② いじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応の推進（教育相談の有機機能の確立）
- ③ Q Uアンケート等の調査結果の活用促進、生徒満足度の向上
- ④ 適切な人間関係・集団形成の促進
- ⑤ 生徒の主体的な啓発活動推進、PTA及び関係諸団体との連携強化
- ⑥ 部活指導計画の作成と心身の健全育成

(4) 勤労観、職業観を育み、自らの進路を主体的に切り拓いていく「生きる力」を育むキャリア教育の推進（金中スタイルの構築によるキャリア教育の系統化）

- ① 保護者や地域の方々との連携し、生徒の自己理解→自己啓発（職業調べ、上級学校調べ、地域の人々の生き方学習）→啓発的経験（職場見学・体験、上級学校体験入学）へと進む場を設定し、地域の特性を生かしたキャリア教育の一層の推進を図る。
- ② 全教育活動においてキャリア発達支援の視点を取り入れ、3年間を見通した系統的な全体計画、年間指導計画等を作成し実践する。
<1年:職場産業従事者交流体験 2年:地域社会職場見学・体験 3年:地域社会連携体験>
- ③ 地域の特性を生かし、キャリア体験学習等を推進する。
ア 1年：農業体験学習⇒食育指導（生産者との交流等）
イ 2年：誘致企業との連携による職場見学・体験学習、地域の商工業関連職種調査見学
ウ 3年：まち歩き（地域再発見）学習：出身小学校区（地区センター）での文化・歴史、生活実態等の調査学習、防災の取組学習⇒地域への発信（地域パンフレット作成等）
エ 長期休業等のボランティア及び職場体験学習：保育体験、介護体験、医療体験、社会貢献活動体験【コミュニティ・スクールの活用】
- ④ 三者面談や定期・随時の面談機会を通じて、生徒のキャリア発達を支援する。

(5) 豊かな人間性の育成を図る道徳教育の充実

- ① いわての復興教育との関連を考慮し、道徳教育の全体計画及び年間計画及び評価計画等を作成し、実践する。
- ② いわての復興教育の推進に向けて、教育活動全体を通して命を導ぶ道徳の実践力、規範意識などを高める支援指導の充実を図る。
- ③ 朝読書の継続や教科等における図書館の利活用を通して読書活動を推進し、知的好奇心を喚起するとともに豊かな感性や情操を育む。
- ④ 社会の構成員としての自覚と他者を尊重し思いやる心、公共のために尽くす心を育むため、集団行動体験、職場見学・体験活動、社会貢献活動等、地域資源を活用し、さまざまな体験活動を積極的に実施する。

(6) 一人ひとりに応じた特別支援教育の推進

- ① 一人ひとりの実態に応じた特別支援教育の支援計画を整備し、実践を通して改善を図る。また、支援を要する生徒との交流を通して多様性への理解を深めるとともに、全ての生徒の健やかな成長に役立てる。
- ② 将来的な自立に向けての基盤を養うとともに、交流学習を通して人間関係を築くスキルを身につけさせ、実態に応じたキャリア教育を推進する。通常学級で特別に配慮されなければならない生徒の指導については、保護者との連携を図りながら、個別の支援指導等を工夫する。
- ③ 校内就学支援委員会及び校内特別支援委員会を機能させ、教育上特別な配慮を必要とする生徒について、適正な支援指導を推進する。
- ④ 研修等を通じて発達障がい等に対する理解を深めるとともに、諸検査を積極的に活用し、障がい等の認知特性を把握し、個に応じた適切な支援に努める。

(7) 東日本大震災等の復興教育の推進

- ① 大震災津波等の体験を踏まえ、災害の知識や災害から身を守る方法を身につけ実践力を養うとともに、地域の実情を適確に把握し防災意識の高揚を図る。【そなえる・防災教育の推進】
- ② 地域における自分自身の役割や自己の在り方を考え、将来への展望を持たせる。【いきる】
- ③ 地域との関わり方や郷土の将来像等様々な要素を組み入れた復興教育の実践化を図る。【かかわる・社会貢献活動の推進】

(8) その他

- ① 教職員の勤務時間外の部活動指導についての保護者会による支援体制の構築
- ② ICT等を活用した在学学習等の出席扱いの要件の整備
- ③ 地域資源を活用した共育活動の実践
- ④ 「SKWs～エスケーワーズ」による働き心地のよい職場環境の構築

2. 金中「まなびフェスト」2026

【学校で取り組む「まなびフェスト」】

学校教育目標	英知 基礎・基本を大切に、学び続ける生徒	敬愛 自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒	鍛錬 常に心と体を鍛え、修練に励む生徒
まなびフェスト	○「わかる・できる」→「いつでもできる」授業の実践に努め主体的に学び続ける生徒の育成を目指します。 ○「英語教育の町」の取組で培った力を発揮できる生徒の育成を目指します。 ○小中及び中高の学習支援の連携を図り、学習習慣の確立を目指します。	○自分自身を大切に、他を思いやり、あたたかい人間関係を築くことができる生徒の育成を目指します。 ○強い志を堅持し、粘り強くやりぬく生徒の育成を目指します。	○自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒の育成を目指します。 ○目標に向かって、計画的に取り組む生徒の育成を目指します。
具体的な取組	①授業に「見通し」と「振り返り」の場があり、主体的・対話的で深い学びの充実を図る授業実践に努めます。 ②基礎・基本の定着とその活用を図るため、授業での評価や家庭学習課題に、諸調査の問題等の積極的な活用を努めます。 ③授業と家庭学習が連動する学習習慣の確立に向け、生徒が計画・実践する主体的な取組を促進するとともに、予習の推奨及び学び方の指導に努めます。 ④諸調査の結果を踏まえた、積極的な授業改善に努めます。 ⑤各種検定受験の取組を促進します。	①日常的な生徒活動において、主体的・協働的な取組を促進するとともに、教育相談やQ.U等を有効に活用し、居心地の良い学級づくりに努めます。 ②キャリア教育・復興教育等の体験活動等を通して、進路設計及び人生設計に努めます。 ③日常の諸活動及び行事等において、お互いの成長を認め合いあたたかな人間関係の構築に努めます。 ④特別の教科道德の計画的な実践と評価の活用を努めます。 ⑤読書活動の推進に努めます。 読書時間の確保 多読・熟読の推進 図書館蔵書整備	①定期教育相談の実施と諸調査の有効活用により、困りや悩みの把握とその解消に向けた支援に努めます。 ②安全や健全な心身の成長に向けた啓発的な指導の機会を積極的に設け、生徒の事故防止及び健康増進に努めます。 ③部活動の奨励と完全休養日の設定を行い、成長期にある生徒の健康維持に努めます。 ④生徒自身で健康管理に努めるように指導するとともに、健康診断の結果をもとに、治療促進等を促します。 ⑤部活動の活動計画を立案し、合理的な活動に努めます。また、時間の有効活用を努めます。
目標値	①学習意識調査により「授業がわかる」プラス傾向90%以上を目指します。 ②諸検査において、全教科が県平均及び全国平均以上を目指します。 ③家庭での生活リズムを整え、家庭学習時間が60分以上の生徒60%を目指します。 ④諸調査の結果を、保護者と確実に情報共有し、家庭との連携に努めます。 ⑤英検受験者の割合を全校の90%以上、3年生の英検3級合格45%以上を目指します。	①毎日、元気に楽しく学校生活を送っている生徒90%を目指します。 ②地域と連携した体験活動等を実施し、その成果を発表します。 1年：農業体験等 2年：職場体験等 3年：地方探訪（まち歩き） 希望者：医療福祉体験等 ③日常の活動及び行事等で意欲的に取り組む生徒90%を目指します。また、学期ごとに授業参観日を設定し、生徒の活動の様子をご覧いただきます。 ④授業参観日等において、道德授業公開を年1回以上実施します。 ⑤朝読書を継続し、月1冊以上の本を読むことを推奨します。	①教育相談を定期的に実施し、個々の生徒および学級学年集団の実態を適確に把握します。 ②交通安全教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教室、思春期講座等を実施します。 ③週に2日（毎週月曜日及び土曜日または日曜日）を部活動休養日とします。また、時間の有効活用ができるよう支援指導を行います。 ④治療勧告等をもとに、生徒80%が受診することを目指します。 ⑤部活動の活動方針及び具体的な活動内容を検討します。また、活動時間は平日2時間以内、休業日は3時間以内とします。



大志拓路 大いなる志を実現するため、路を切り拓き続ける人の基盤育成を目指す

【家庭でご協力を頂きたい「まなびフェスト」取り組み】



学校教育目標	英知 基礎・基本を大切に、学び続ける生徒	敬愛 自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒	鍛錬 常に心と体を鍛え、修練に励む生徒
家庭での 具体的 取り組み	①計画的な家庭学習時間の確保と質の向上に向け協力する。 ②各種調査等の結果を親子で確認し、次の目標を設定し、学習への意欲付けを図る。 ③英検等の資格取得を奨励し、その取り組みに協力する。	①キャリア教育等の体験活動から、進路設計について親子で話し合う機会を設ける。 ②読んでいる本について家庭で話題にし、読書を推奨する。 ③授業参観等に参加し、共に成長を確認する機会を大切にする。	①早寝、早起き、朝ご飯と元気の挨拶を励行する。 ②家庭におけるメディアの適正な利用について話し合うなどして、家庭における時間の有効活用を支援する。 ③治療勧告をもとに、受診と治療に努める。

3. 校内研究について

1 研究主題「表現力を育てる学習指導のあり方」

～自分の思いや考えを伝え合う活動を通して～

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編に「言語能力の向上は生徒の学びの質の向上や資質・能力の育成に関わる重要な課題として受け止め、重視していくことが求められる。」と示されている。基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図り、教育活動全体（授業においては各教科等の指導のねらいを明確にして）で、言語活動に取り組み表現力を育てることで、主体的に学習する生徒を育成できるであろうと考える。

(2) 学校教育目標との関連から

本校の教育目標は、「[英知 基礎・基本を大切にし、学び続ける生徒【知】」「[敬愛 自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒【徳】」「[鍛錬 常に心と体を鍛え、修練に励む生徒【体】」この知徳体のバランスを大切にした生徒の育成を図り、「大志をもち、道を切り拓く生徒【大志拓路】」である。基礎的・基本的な知識・技能の習得にとどまらず、課題に主体的に関わり活用を図り学び続けること、他者との関わりの中で共に高まろうとする意識をもつことが必要である。そのことが、学力向上を目指す教科指導の充実にも大きく関わるものであると考える。

(3) 生徒の実態から

令和7年度の県学習定着度状況調査によると、英語では、観点の「思考・判断・表現」の正答率は42.7%（昨年度41.6%）で県平均より+9.3で、領域の「書くこと」の正答率は47.2%（昨年度30.9%）で県平均より+16.6である。数学では、観点の「思考・判断・表現」の正答率は37.7%で県平均より-3.6である。また、小問正答率を見ると、「9連続する3つの自然数の和について成り立つ事柄を説明することができる」の正答率は24.8%であり、他の諸調査においても、説明を要する問題については正答率の低さや無回答率の高さが見られる。

以上のことから、研究主題「表現力を育てる学習指導のあり方」、副題を「自分の思いや考えを伝え合う活動を通して」と設定した。

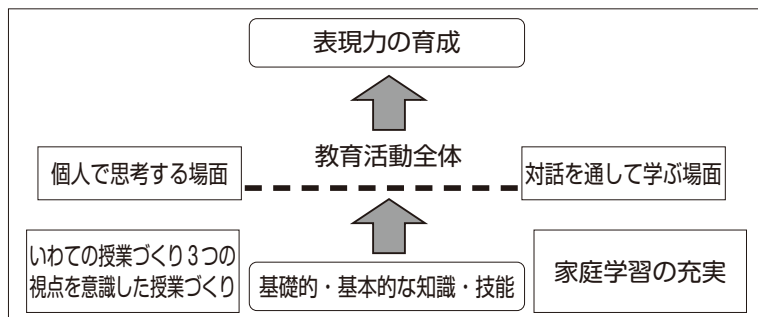
3 研究の目標

表現力を育てるために、効果的な指導方法を明らかにする。

4 研究の内容

(1) 基本的な考え方

「表現力」とは、「思考や感情を相手に分かりやすく伝える能力」である。表現方法として、言葉、文章、表情、ジェスチャーや音楽、絵画、ダンスなどの芸術的なものも挙げられる。表現力を育てるために、各教科において「いわての授業づくり3つの視点」を意識した授業を実践し、「家庭学習」を充実させ、「基礎的・基本的な知識・技能」の習得を図っていく。それを土台として、授業の中に「個人で思考する場面」と「対話を通して学ぶ場面」を位置づける。また、教育活動全体において他者との関わりの中で育んでいきたい。



(2) 重点項目

- ① 個人で思考する場面・課題を明確にする、既習事項の確認、資料の読み取り、ICTの活用
- ② 対話を通して学ぶ場面・仲間との対話、教師との対話、自己との対話、ICTの活用
- ③ 学習規律の徹底・・・挨拶、話すこと・聞くこと指導
- ④ 親和的な学級づくり・・・Q-Uアンケートの分析・活用、行事や係・当番活動など
- ⑤ 家庭学習の充実・・・毎日の生活記録ノートの活用、予習や自主学習の推奨。さらに、一人一台端末等のICT機器も活用しながら、「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実が図られるように努めていく。

4. 学校生活の様子

1. 学 級 数

1年	2年	3年	特支	計
3	4	4	3	14

2. 生 徒 数

R8. 4. 2時点

学 年	男	女	計
1 学年	5 8	4 1	9 9
2 学年	5 6	6 7	1 2 3
3 学年	8 0	5 6	1 3 6
計	1 9 4	1 6 4	3 5 8

3. 進路状況

進路状況（人数）		R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
進 学 者	公立 高校	9 6	8 3	4 0
	私立 高校	3 3	3 9	7 9
	特別支援学校	0	1	1
	高 専	0	5	1
	小 計	1 2 9	1 2 8	1 2 1
就 職 等		1	0	0
合 計		1 3 0	1 2 8	1 2 1

4. 生活時程表（6 時間時程）

		時 間
生 徒 登 校		8:20
朝 読 書		8:20～ 8:30
朝 短 活		8:30～ 8:40
1 校 時		8:50～ 9:40
2 校 時		9:50～10:40
3 校 時		10:50～11:40
4 校 時		11:50～12:40
給 食		12:40～13:10
休 憩		13:10～13:30
5 校 時		13:35～14:25
6 校 時		14:35～15:25
清 掃		15:25～15:40
帰 短 活		15:40～16:00
課 外 活 動		16:05～16:50
生徒下校（S・B）		16:55(17:00)

5. 主な学校行事

学期	月	主 な 学 校 行 事
一 学 期	4	紹介式、1 学期始業式、入学式、対面式、身体測定、交通安全教室、知能検査、PTA 総会、新入生学調（1 年）、全国学調（3 年）、校外学習（1 年）
	5	体育祭、地区通信陸上大会、まち歩き学習（3 年）、職場体験学習（2 年）
	6	小中授業参観情報交換会、避難訓練、地区中総体、中総体報告会、県通信陸上大会、高校説明会（3 年）、1 学期末テスト
	7	吹奏楽コンクール県南地大会、県中総体、三者面談、1 学期終業式、高校一日体験入学
二 学 期	8	東北大会、全国大会、2 学期始業式、吹奏楽コンクール県大会
	9	避難訓練、修学旅行（3 年）、地区新人大会、2 学期中間テスト、地区駅伝大会、新人大会等報告会、農業体験学習（1 年）、震災学習遠足（2 年）
	10	生徒会役員選挙、県学調（2 年）、県新人大会（前期）、文化祭
	11	Let's go to school day、高校入試説明会、県新人大会（後期）、学校公開研究会、2 学期末テスト、生徒総会、小学 6 年生体験入学、中 3 目標テスト
	12	支部吹奏楽アンサンブルコンテスト、三者面談、2 学期修了式、生徒会リーダー研修
三 学 期	1	3 学期始業式、私立高校入試
	2	新入生入学説明会、3 学期末テスト、感謝と激励の会、授業参観
	3	公立高校入試、卒業式、修了式、離任式

7. 学校の沿革

1 開校と変遷

昭和40.	4.	1	金ケ崎中学校創立、4校舎に生徒を収容校章制定
		5.	1 金ケ崎中学校において開校式举行
昭和41.	10.	10	校歌制定（作詞：千田正作曲：鈴木林蔵）
昭和43.	4.	1	実質統合、新校舎に移転【学級数27、生徒1,100人、教職員数48人、スクールバス5台運行】
		8.	8 第一グラウンド整地工事完了
	11.	30	体育館完成
昭和45.	10.	4	気象観測施設設置(金ケ崎町ライオンズクラブより寄贈)
昭和46.	7.	21	学校水泳プール落成
昭和49.	3.	31	アナライザー等教育機器導入、教育機器室設置
	10.	28	統合10周年記念式典举行
昭和53.	3.		視聴覚施設設置（社会科室・理科室にテレビ・ビデオ設置）
昭和54.	3.		柔剣道場落成
昭和56.	10.		校舎窓枠全面補修工事
昭和57.	3.	17	暖房・水道・ガス配管等改修工事竣工
昭和59.	7.	23	コンピュータールーム開設
	10.	10	国旗掲揚塔設置
	11.	10	統合20周年記念式典举行
昭和60.	10.	22	体育館床改修
昭和62.	10.	22	管理棟一部改修（事務室・更衣室・物等）
平成元.	11.	20	大規模改造工事（外壁・内装・屋根・管理棟・体育館・便所）H2. 10. 31完了
平成6.	11.	12	統合30周年記念式典举行
平成8.	3.	31	校門完成
平成9.	3.	31	第二グラウンド整備・駐車場完成
		5.	28 体育館屋根改修工事
平成10.	11.	12	ボイラー更新
平成15.	3.	31	校舎東側トイレ改修工事完成
平成16.	3.	31	校舎西側トイレ改修工事完成
平成17.	3.	31	校舎西側階段手すり取り付け
平成18.	11.		水洗トイレに町水道を接続高架水槽送水管の保温工事完成
		12.	駐輪場太陽光発電式証明灯2機設置
平成19.	3.	14	プールトイレの改修（水洗化）
		8.	校舎耐震診断のため壁の標本抜き取り作業
		8.	金中メール配信開始
	10.	11	体育館の分電盤・照明スイッチ工事
	10.	21	オヤジの力古いフェンスの撤去作業実施
	11.	12	太陽光発電による駐輪場照明装置工事（20w蛍光灯12機）
	11.	28	教室棟ベランダ補修工事完了
平成20.	8.	20	新しい生徒用机・椅子377セット搬入
平成21.	7.	1	校舎改築工事着工
平成22.	2.	8	新校舎での生活開始
		3.	1 新校舎落成式
		3.	31 既存解体工事完了
平成23.	9.	13	東校舎他耐震補強工事完了
平成26.	11.	8	統合50周年記念式典举行
平成28.	4.		胆江地区中学校体育連盟事務局校（平成28～29年度）
	10.	2～4	いわて国体少年男子ソフトボール会場学年毎に応援
	10.	24	希望郷いわて大会閉会式全校参加

			7月と3月 「小さな親切」実行章年に2度受章
平成29.	4.		コミュニティ・スクール開始
	4.	27	トヨタふれあいコンサート
	8.	29	2年誘致企業職場体験開始
	8.	31	1年地域農業体験学習開始
平成30.	1.	28	2年リーダー「まち歩き」体験開始
	2.	15	「小さな親切」実行章受章
	5.	31	地区中学校生徒会連絡協議会総会開催（平成30年度事務局校）
	8.	1	福祉体験ボランティア開始(保育園、介護施設、診療所)
平成30.	9.	11	3年「出身小学校区まち歩き」学習開始
	9.	27	バックネット更新引き渡し
令和元.	12.	3	エアコン設置工事開始
令和2.	3.	4	エアコン設置工事完了
			臨時休業（COVID-19の感染拡大防止のため）～14日
令和3.	11.	19	厚生労働大臣表彰（ボランティア功労者）
令和4.	1.	26	岩手県はばたき賞（ボランティア功労者）
		5.	21 春季善行表彰（日本善行会）
令和6.	6.	24	1～3年教室に電子黒板整備
		9.	20 柔剣道場照明LED化工事完了
	11.	9	統合60周年記念式典举行
令和7.	8.	27	中国雲南省教育交流訪問団による学校訪問
	10.	4	金ケ崎町新町誕生70周年記念式典参加
令和8.	3.		気化式冷風機 体育館4台、柔剣道場2台設置

2. 歴代校長及び着任時の生徒数・学級数の推移

昭和40年度	初	代校長	高橋武三	1,336名	33学級
昭和45年度	第2	代校長	及川信一	947名	24学級
昭和48年度	第3	代校長	後藤忠雄	849名	24学級
昭和51年度	第4	代校長	千葉庄作	792名	21学級
昭和57年度	第5	代校長	小原守寿	567名	17学級
昭和59年度	第6	代校長	菅原和朗	596名	17学級
昭和61年度	第7	代校長	千葉克郎	635名	17学級
平成元年度	第8	代校長	佐々木國雄	678名	18学級
平成3年度	第9	代校長	千田達雄	681名	20学級
平成5年度	第10	代校長	八巻 實	681名	20学級
平成7年度	第11	代校長	本多 柏一郎	601名	18学級
平成11年度	第12	代校長	佐藤 公好	580名	17学級
平成13年度	第13	代校長	小田原 誠喜	545名	16学級
平成15年度	第14	代校長	佐藤 信雄	497名	16学級
平成18年度	第15	代校長	石川 清	527名	15学級
平成21年度	第16	代校長	佐藤 孝	457名	14学級
平成23年度	第17	代校長	佐々木 哲也	430名	15学級
平成26年度	第18	代校長	伊東 雅美	452名	16学級
平成28年度	第19	代校長	遠藤 宗俊	456名	18学級
令和2年度	第20	代校長	高橋 広明	416名	16学級
令和6年度	第21	代校長	大森 啓睦	380名	16学級

3. 研究指定等

昭和44.	4.	1	県緑化推進指定（2年）
昭和46.	4.	1	県特殊教育研究指定（2年）
昭和55.	4.	1	学習指導法研究（県指定）
昭和56.	10.	16	学校公開研究会「学習意欲を高めるための指導法」（県・町指定）
昭和60.	5.	29	社会福祉協力校（県指定）
昭和61.	9.	19	県技術・家庭科研究大会会場
昭和63.	4.	1	格技指導研究（文部省指定）
昭和63.	9.	20	県新聞教育研究大会会場
平成2.	11.	7	学校公開研究会（文部省・町指定）
平成5.	4.	1	エイズ教育推進地域指定
平成10.	4.	1	豊かな心を育む教育推進事業実践研究協力校（文部省・町指定）
平成12.	10.	3	豊かな心を育む教育推進事業指定学校公開研究会
平成17.	4.	1	町教育研究指定（教育課程一般）
平成20.	11.	6	町教育研究指定学校公開研究会（教育課程一般）
平成25.	4.	1	県指定「発達力育成のための語彙指導改善推進モデル事業町教育研究指定（教育課程一般）
平成27.	11.	19	町教育研究指定学校公開研究会（教育課程一般）
平成30.			県指定「英語が好きになる学校づくり事業」に係る研修協力校の指定
			県指定「中学校数学個別訪問」指定校
平成30.	4		町教育研究指定（教育課程一般）
令和2.	4.	1	復興教育スクール指定（県教委）
	11.	19	町教育研究指定学校公開研究会（教育課程一般）
令和6.	4.		町教育研究指定（教育課程一般）

4. 文化・体育

昭和47.	6	第15回県中学校通信陸上競技大会女子400MR優勝
昭和48.	9	NHK全国学校音楽コンクール県大会最優秀賞東北大会出場
昭和51.	7	第19回県中学校通信陸上100M優勝
昭和52.	11	県ポスターコンクール最優秀賞
	12	県読書感想文コンクール最優秀賞
昭和53.	3	県作詞作曲コンクール最優秀賞
昭和54.	8	県下剣道大会優勝
昭和55.	7	全日本中学校通信陸上県大会1500M優勝
昭和56.	7	全日本中学校通信陸上県大会3000M優勝
昭和58.	7	県中総体陸上競技100M優勝
昭和60.	8	県中総体剣道女子団体優勝
	10	県英語弁論大会暗唱の部優勝
昭和62.	9	県英語弁論大会暗唱の部優勝
昭和63.	9	県小中学校新聞コンクール最優秀賞
平成元.	9	少年の主張県大会最優秀賞
	12	県小中学校新聞コンクール最優秀賞
平成3.	7	県中総体ソフトボール女子優勝
	8	第18回東北中学ソフトボール大会優勝
	8	第13回全国中学ソフトボール日向大会出場
平成4.	4	国際宇宙年記念事業作文コンテスト科学技術庁長官賞
	7	県中総体陸上競技100MH優勝
	9	県小中学校新聞コンクール最優秀賞
平成5.	7	全日本中学校通信陸上県大会共通男子走幅跳第1位（大会新）
平成5.	7	県中総体陸上競技共通男子走幅跳第1位（大会新）
	12	農協主催作文コンクール岩手県教育長賞
	12	県中学校スケート大会フィギュア男子C第1位
平成6.	7	県中総体陸上競技女子三種競技A第1位
	10	県新人大会ソフトボール女子優勝
平成7.	7	県中総体ソフトボール女子準優勝東北大会出場
	11	県図画作品コンクール優秀金賞
平成8.	7	全日本中学校通信陸上競技大会県大会
		共通男子走幅跳第1位 共通女子砲丸投第1位
平成9.	7	県中総体陸上競技共通男子400M第1位
平成10.	7	全日本中学校通信陸上競技県大会低学年女子400MR第

		1位
	8	県中学校男子ソフトボール大会第1位
平成11.	7	東北中学校男子ソフトボール大会第1位
10		県中学校新人大会陸上競技共通女子三種B第1位
11		県中学校新人大会体操競技個人平均台第1位
		県小中学校新聞コンクール最優秀賞
平成12.	7	県中総体陸上競技共通女子三種B第1位
		県中学校男子ソフトボール大会第1位
11		県小中学校新聞コンクール最優秀賞
平成13.	7	県中総体陸上競技共通女子三種B第1位
11		県小中学校新聞コンクール最優秀賞、優秀賞
平成15.	11	県小中学校新聞コンクール最優秀賞、優秀賞
12		県中学校スケート大会スピードスケート競技
		男子1500M第1位男子3000M第1位
		東北中学校スケート大会スピードスケート競技出場
平成19.	7	県中総体水泳競技女子100M平泳ぎ第1位
		女子200M平泳ぎ第1位
	8	全国小中学校環境ポスターコンクール環境大臣賞
平成20.	7	全日本中学校通信陸上競技大会県大会1年女子1500M第1位
	8	東北中学校ソフトテニス大会女子団体第3位
10		県中学校新人大会陸上競技大会共通女子800M第1位
平成21.	10	県中学校新人大会ソフトテニス競技女子個人の部優勝
平成22.	7	県中総体陸上競技共通女子800M第1位
平成23.	7	県中総体男子バレーボール優勝
	8	東北大会男子バレーボール3位全国大会出場
	12	県FAX新聞コンクール最優秀賞2年4組
平成24.	12	県FAX新聞コンクール最優秀賞3年4組
平成25.	7	県中総体男子バレーボール優勝
	8	東北大会男子バレーボール2位全国大会ベスト16
平成26.	7	県中総体男子バレーボール優勝
		柔道男子個人第1位、女子個人第1位全国大会出場
	8	東北大会男子バレーボール優勝全国大会出場
平成27.	8	東北大会男子バレーボール優勝全国大会出場
平成28.	7	第62回県通信陸上中2男100M第1位
	7	第63回県中総体男子剣道3位東北大会出場
	7	第63回県中総体陸上中2男100M第1位東北大会出場
	7	第63回県中総体陸上中2、3女砲丸投4位東北大会出場
	7	第63回県中総体男子バレーボール第1位東北大会出場
	8	第54回県吹奏楽コンクール金賞東北大会出場（銅賞）
	8	東北大会男子バレーボール3位全国大会出場
	8	東北大会陸上中2男100M第1位
	8	県新人大会水泳中1女100M自・50M背・100M背第1位
10		県新人大会陸上中2男100M第1位大会記録
10		ジュニアオリンピック陸上クラスB100M3位
11		県新人大会男子バレーボール第1位
11		人権作文県大会奨励賞
11		中学生の税の作文県知事賞
11		県新人大会男子バレーボール第1位
11		県「心の輪を広げる体験作文」優秀賞
11		県「税についての作文」県知事賞
11		“社会を明るくする運動”作文コンテスト
		岩手県推進委員会委員長賞
平成29.	7	第63回県通信陸上中3男100M第1位
	7	第64回県中総体男子ソフトテニス団体1位東北大会出場
	7	第64回県中総体ソフトテニス
		個人男子第1位・女子第2位東北大会出場
	7	第64回県中総体男子剣道第3位東北大会出場
	7	第64回県中総体男子バレーボール第2位東北大会出場
	7	第64回県中総体女子水泳200M背泳ぎ第4位東北大会出場
	8	東北大会女子ソフトテニス個人2位全国大会出場
	8	東北大会男子ソフトテニス個人3位全国大会出場
	8	東北大会陸上中3男100M第1位
	8	全国大会陸上男子100M第6位

10 第72回国民体育大会少年男子B100M参加
 10 ジュニアオリンピック陸上クラスA100M準決勝進出
 11 県新人大会男子柔道個人50kg級第1位
 11 県新人大会男子バレーボール第1位
 平成30. 6 第27回全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト
 北東北大会銅賞
 7 全日本中学校通信陸上競技大会県大会
 男子中学共通砲丸投げ第1位
 7 第65回県中総体男子柔道50kg級第2位東北大会出場
 7 第65回県中総体男子共通砲丸投げ第1位
 7 第65回県中総体男子バレーボール第1位東北大会出場
 10 第22回県新人大会男子共通800m第1位
 11 第48回県新人大会男子バレーボール第1位
 11 第38回全国中学校人権作文コンテスト県大会
 最優秀賞県中学校長会会長賞感謝状
 平成31. 1 第30回読書感想画県コンクール最優秀賞
 令和 元. 6 全日本中学校通信陸上競技大会県大会男子中学共通800m
 第1位
 7 第66回県中総体男子バレーボール第1位東北大会出場
 7 第66回県中総体男子共通800m第1位全国大会出場
 7 第66回県中総体男子共通砲丸投げ第3位全国大会出場
 7 第71回県民体育大会陸上競技3部女子円盤投げ第1位
 令和 2. 8 第66回全日本中学生通信陸上競技大会岩手県大会
 アシックスチャレンジカップ共通男子200m第1位
 令和 3. 6 第67回全日本中学校通信陸上競技岩手県大会
 共通女子四種競技第2位東北大会出場
 6 第67回全日本中学校通信陸上競技岩手県大会
 共通女子800m第4位東北大会出場
 6 第67回全日本中学校通信陸上競技岩手県大会
 低学年女子4×100mR第2位東北大会出場
 7 岩手県中学校総合体育大会
 陸上競技低学年女子4×100mR第1位
 令和 3. 10 第25回岩手県中学校新人大会
 陸上競技共通女子四種競技第1位
 11 税の作文県納税貯蓄組合連合会長賞
 県納税貯蓄組合連合会優秀賞
 令和 4. 7 第68回全日本中学校通信陸上競技岩手県大会
 中学共通女子四種競技第1位東北大会出場
 中学校共通女子4×100mR第2位東北大会出場
 中学3年女子100m第5位東北大会出場
 7 第69回岩手県中学校総合体育大会
 バレーボール競技男子第1位
 陸上競技共通女子四種競技第1位
 8 東北中学校体育大会
 第52回東北中学校バレーボール大会男子第2位
 全国大会出場
 8 第43回東北中学校陸上競技大会共通女子四種競技第1位
 8 全国中学校体育大会
 第52回全日本中学校バレーボール選手権大会出場
 11 中学生の税の作文仙台国税局長賞
 令和 5. 3 第3回岩手県中学校バレーボール選手権大会女子第2位
 10 岩手県中学校新人大会バスケットボール競技男子第2位
 11 岩手県中学校新人大会柔道競技男子個人81kg級第3位
 12 東北中学校体育大会
 第45回東北中学校スケート・アイスホッケー大会
 アイスホッケー第2位
 第35回読書感想画岩手県コンクール最優秀賞
 令和 6. 3 第4回岩手県中学校バレーボール選手権大会女子第2位
 6 第70回全日本中学校通信陸上競技岩手県大会
 共通男子400m第3位 東北大会出場
 共通男子4×100mR第3位 東北大会出場
 共通女子200m第4位 東北大会出場
 7 第71回県中総体
 バレーボール競技男子第1位 東北大会出場

ソフトテニス女子個人第3位 東北大会出場
 水泳競技男子400m個人メドレー第2位 東北大会出場
 男子200m個人メドレー第3位 東北大会出場
 バレーボール競技女子第3位
 バスケットボール競技男子第3位
 7 実用英語技能検定1級合格
 令和 6. 8 第54回東北中学校バレーボール大会男子第1位
 8 第79回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会
 岩手県予選会 一般女子第3位
 8 第54回全日本中学校バレーボール選手権大会出場
 11 県新人大会
 バドミントン競技女子シングルス第3位
 柔道競技男子個人73kg級第3位
 バレーボール競技男子第2位、女子第3位
 12 東北中学校体育大会
 第46回東北中学校スケート・アイスホッケー大会
 アイスホッケー競技第2位（岩手県選抜） 全国大会出場
 令和 7. 3 第5回岩手県中学校バレーボール選手権大会
 男子、女子第2位
 7 第71回全日本中学校通信陸上競技岩手県大会
 共通女子100mH 第4位 東北大会出場
 共通女子4×100mR 東北大会出場
 第72回県中総体
 バレーボール競技男子第1位 東北大会出場
 水泳競技男子400m個人メドレー第1位東北大会出場
 8 第55回東北中学校バレーボール大会男子第1位
 第55回全日本中学校バレーボール選手権大会ベスト16
 第63回岩手県吹奏楽コンクール岩手県大会
 中学生小編成の部 金賞
 10 県新人大会ソフトテニス競技 男子団体第3位
 12 東北中学校体育大会
 第47回東北中学校スケート・アイスホッケー大会
 アイスホッケー競技第2位（岩手県選抜） 全国大会出場
 令和 8. 1 第46回岩手県アンサンブルコンテスト 木管三重奏 銀賞
 2 胆江地区中学校体育連盟 栄光賞（男子バレーボール部）

